

2. 地域生活を支えるインフラが充実するまちづくり

人々の生活を支えるインフラをさらに強く、便利に、そして誰もが使えるように発展させるため、町民の皆様からの要望の声が高いものをしっかりと把握し、優先順位を明確にしながら、計画的にインフラの整備を進めます。

道路につきましては、町民生活の安全性確保に向けた地域内生活道路の整備推進として、北吉原中通り改修事業や虎杖浜北3番線簡易舗装事業を実施するほか、地域要望に基づく町道補修事業を実施してまいります。

橋梁長寿命化事業につきましては、道内初となる国土交通省などで構成される「道路メンテナンス技術集団」の直轄診断結果をもとに、国の修繕代行制度を活用し、白老橋の補修工事を実施してまいります。

公園の整備につきましては、白老町公園施設長寿命化計画に基づき、萩の里自然公園の整備のほか、公園遊具の更新に取り組んでまいります。

上水道につきましては、「白老町新水道ビジョン・経営戦略」の策定に取り組み、安全で安心な水道水を安定的に供給することを基本理念として事業を推進してまいります。

3. 未来を見据えた施設の長寿命化や適正配置を計画的に推進するまちづくり

今後、人口減少社会がさらに進行すると見込まれる中、持続可能な行財政運営と質の高い行政サービスを次世代に引き継ぐためには、本町の公共施設の抜本的な見直しを図り、効率的かつ効果的な維持管理や再配置の推進は避けて通れないものと考えております。

公共施設等を維持していくためには、多額の更新・修繕費用等が見込まれることから、全体の状況や未来を見据えて財政状況と経費のバランスを取りながら、改修・更新・長寿命化等を計画的に実施します。

令和4年度は、白老町公共施設等総合管理計画に基づき、旧森野福祉館の解体工事、旧東町福祉館の解体工事实施設計のほか、子ども発達支援センターの大規模改修事業を実施いたします。

また、町立病院改築事業につきましては、3年度までに受託事業者を決定したことから、令和4年度中に基本設計、実施設計を行い、地域住民に親しまれる地域医療の拠点となるよう、早期改築に向けて取り組みを進めてまいります。

さらに、本町の多様なアイヌ伝統文化保存・伝承、相互交流の中心施設として、高砂地区において多機能型生活館の整備事業に取り組むとともに、役場庁舎につきましても、建設基本計画の策定など改築に向けて取り組みを推進してまいります。